

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>(1) 1 学年</p> <p>①伝え合う力に課題があり、言語活動の充実を目指す。</p> <p>②表現力が乏しく、語彙を豊かにする指導を目指す。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①語彙を豊かにして、作文に生かす力をつけさせる。</p> <p>②意見や考えをまとめ、具体的に記述する力をつけさせる。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①読み取ったことを元に、まとまった考えや意見を述べる力が不足している。</p> <p>②論理的な文章を読む力が不十分である。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①言語活動を通して自分の思いや考えを相手に的確に伝える力を身に付けさせる。</p> <p>②作文指導を通して根拠を明確にして自分の考えを伝える力を身に付けさせる。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①漢字小テスト、文章読解などを通して表現力の基礎となる語彙力を高めさせる。</p> <p>②作文指導、発表の指導で自分の考えをまとめ、具体亭に伝える力をつけさせる。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①図書室や ICT を活用し必要な情報を収集しながらまとめる力を身に付けさせる。</p> <p>②様々な文章を読み語彙を増やし、論理的に文章を書ける力を身に付けさせる。</p>	<p>取り組み中</p>
社会	<p>(1) 1 学年</p> <p>①社会科に関する興味・関心、発言などが生徒により差が大きい。</p> <p>②知識を覚えることが社会科だと考えている生徒が多い。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①資料を読み取り、適切な情報を取捨選択すること。</p> <p>②自分の考えや資料から読み取れた事を自分の言葉などで発表、発言すること。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①複数の資料を比較し、適切な情報を読み取る力が不足している。</p> <p>②自分の考えや意見を発表したり、表現したりする力が不十分である。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①学習を活用する場として単元のまとめに時間を割り、指導する。</p> <p>②主体的に資料から必要な資料を読み取れるように身近な事例を取り入れる</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>① I C T 機器や視聴覚教材を効果的に活用する。</p> <p>②単元ごとに論理的に説明したり、文章で表現したりする機会を設ける。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①自分の考えを表現する方法として発表以外にも様々な表現方法を使い表現する</p> <p>②一つだけでなく、複数の資料の読み取りや地理、歴史といった社会科の総合的な内容から資料を活用する。</p>	<p>取り組み中</p>
数学	<p>(1) 1 学年</p> <p>①基礎・基本が定着していない生徒や学習習慣が身につけていない生徒がいる。</p> <p>②積極的に発言し真面目に取り組む生徒が多いが学び合い活動が不足していた。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①習熟度別コースで学習しているが、そ</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①問題集などで復習する習慣を身につけさせる。</p> <p>②思考過程を、言葉や数、式、図、表、グラフなどを活用し、数学的表現を用いて説明させる。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①基礎的な内容を明確に提示し、理解させる。</p> <p>②問題集を使用し、問題演習に取り組む時間を</p>	<p>取り組み中</p>

	<p>の中でも差が大きい。</p> <p>②真面目に取り組む生徒が多いが、定着するまで学習するという姿勢が不足している生徒もいる。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①基礎・基本が定着していない生徒がおり、習熟度の差が大きい。</p> <p>②振り返りの内容は扱えたが、発展的な内容を取り扱うことが十分ではなかった。</p>	<p>増やす。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①基礎クラスでは、問題数をおさえ 1 問にかかる時間を十分にとる。発展クラスでは、多くの問題に取り組むことで、多様な考え方に触れる。</p> <p>②入試問題を教材に取り入れ、生徒の関心を高める。</p>	
理科	<p>(1) 1 学年</p> <p>①観察・実験の技能が身につけていない生徒が多い。</p> <p>②根拠に基づいた推論ができない生徒が多い。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①実験観察の技能が定着していない生徒が多い。</p> <p>②積極的な発言など、授業への意欲が今一つである。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①基礎的・基本的内容の定着が課題である。</p> <p>②科学的事象などについて考察することが苦手である。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①授業の導入に前時の学習の確認を行う。</p> <p>②実験の結果から考察し、発表する授業を随所で実施する。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①前回までの復習確認を発表形式で毎時間実施し、授業への参加意識を高める。</p> <p>②ガスバーナーなど使用頻度が高い器具を中心に、操作確認テストを行う。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①定期的に既習内容の小テストを行う。</p> <p>②実験結果を分析し、レポートで表現させる。また授業で考察の機会を設ける。</p>	取り組み中
音楽	<p>(1) 1 学年</p> <p>①基礎知識の理解不足。</p> <p>②音楽の要素を意識・理解していない。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①基礎知識の理解の定着が出来ていない。</p> <p>②音楽の要素の意識・理解はしているが、活用をしていない。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①基礎知識の活用が出来ていない。</p> <p>②音楽表現のさらなる工夫。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①音符・休符について学習する機会を増やす。(小テスト・すべての活動に入れる)</p> <p>②表現の表出の機会を多くする。(発表・演奏・創作)</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①創作を通して音符や休符の理解を定着させ、表現力を高める。</p> <p>②表現の発表を通して、他者と共動する機会を増やす。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①表現活動において、楽語の解釈などから、自主的な表現活動を引き出す。</p> <p>②表現の発表を通して、他者と共動する機会を増やす。</p>	取り組み中

美術	<p>(1) 1 学年</p> <p>①技能が定着しきれていない生徒がいる。</p> <p>②準備や片付けに時間がかかり、制作時間が少なくなることがある。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①真剣に授業に集中しているが、さらに独創性や創意工夫がほしい。</p> <p>②一部、作品の完成度や進度について遅れを取る生徒がいる。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①これまで3年間で学んだことを活用し制作する</p> <p>②一部、作品の完成度や進度について遅れを取る生徒がいる。</p>	<p>全学年</p> <p>①具体的な進度計画を指し示し、生徒の毎時間ごとの目標を明確にさせる。</p> <p>②進度表を用い、毎時間の反省と次の時間への課題、計画を立てさせ、取組みへの意識を高めさせる。</p> <p>③文化発表会等、鑑賞の活動の場を設ける。</p> <p>④作品サンプルを多数用意し、特に発想、構想の苦手な生徒に対して、速やかに制作に取り組めるようにする。</p> <p>⑤個々の進度差に対応できるよう、よりきめ細やかな机間指導を心がける。</p> <p>⑥制作の手順がわかるように手元をあらかじめ撮影した動画をプロジェクターに投影する。</p>	取り組み中
保健体育	<p>(1) 1 学年</p> <p>①学習活動には意欲的だが、他者とのコミュニケーションに課題がある。</p> <p>②自己の現状を分析し、新たな課題を設定する力に課題がある。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①学習意欲はあるが、自ら質問したりするなどの積極性に課題がある。</p> <p>②学んだ技能を言葉で表現する力が課題である。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①毎時間の目標設定を明確にし、授業への意識、意欲、規律をさらに高める。</p> <p>②授業への意識、意欲、規律をさらに高め、運動能力を向上していく。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①集団行動の仕方を身に付けさせるとともに基礎的な体力・運動能力を向上させる。</p> <p>②言語活動を充実させる。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①規律ある授業づくりを目指す。</p> <p>②既習事項を確認する時間を設け、技能の向上を図る。</p> <p>③グループ活動を増やし、他者との関わり合いの場面を多く設定する。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①既習事項を確認する時間を設け、技能の向上を図る。</p>	取り組み中
技術家庭	<p>□技術分野</p> <p>(1) 3年生の授業時数内における作品製作(実習)と理論面(座学)についての学習の割合に課題が残る。</p> <p>(2) 大多数の生徒が作品製作に興味関心をもって製作にあたっているが、作品の完成度や創造性の伸長については個人差がある。</p> <p>(3) 学年、クラスによって異なるが授業規律の確立が必要である。チャイム着席、授業中の私語、話を聞く、提出物をきちんと出すなどの指導を徹底する。</p> <p>(4) 学習内容によっては、他教科との関連</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①導入的な製作品を取り上げ、体験させることで興味関心をもたせる。</p> <p>②ものづくりを通じて、工具や機器の安全な取り扱い方を身に付けさせる。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①身近な製作品を取り上げ、学習内容に興味関心をもたせ、学習内容を理解させる。</p> <p>②作品製作を通じて、学習内容の定着に努めさせる。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①実習時間の確保に努めるために、学習プリントの内容を精選する。</p>	取り組み中

(特に社会・理科)を踏まえて授業を進める必要がある。

□家庭科分野

(1) 1年生

- ①挙手や発言をする生徒が限られてしまう傾向があった。
- ②教材・教具の忘れや提出物の未提出が見られた。

(2) 2学年

- ①実習時に、集中力が続かず私語をする生徒が見られた。
- ②教材・教具の忘れや提出物の未提出が見られた。

(3) 3学年

- ①挙手や発言をする生徒が限られてしまう傾向があった。
- ②教材・教具の忘れや提出物の未提出が見られた。

(4) 全学年共通

授業時間の不足や調理実習、保育実習の機会が持てないため課題学習を取り入れ評価の工夫を行う。

②製作品に創造性が引き出せるものを取り入れる。

全学年共通

- ①学習ノートを使い、学習内容の定着を図る。
- ②作品の完成度を高めるための個別指導の重視と作業時間の確保に努める。
- ③学習内容及び学習目標を明確に提示して、毎時の授業を展開する。
- ④製作実習においては、生徒間の言語活動を重視した生徒相互の「学び合い」「教え合い」の学習を奨励する。
- ⑤製作時における、サブティーチャーの活用を推進する。

□家庭科分野

(1) 1学年

- ①反復学習や実技テストにより学習内容や技能の定着を図る。
- ②食生活調べや話し合いなどの活動を通して自分の食生活について主体的に考えられる授業を展開する。

(2) 2学年

- ①製作を通して、学習内容に興味関心をもたせる。
- ②生活で活用できる日常着の手入れと補修や調理技能を身に付けさせる。
- ③発表や発言を通して、生徒同士で学び合いができる授業を展開する。

(3) 3学年

- ①実習時間の確保に努めるために、学習プリントの内容を精選する。
- ②お互いの作品を鑑賞し、学び合いを通して創意・工夫する力を高める。

(4) 全学年共通

- ①授業開始時に「めあて」を提示し、課題意識をもたせ、課題解決に向けた主体的な学習活動となるように授業を進めていく。
- ②学習プリントや学習ノートを使い、また小テストによる学習内容の定着を図る。
- ③製作時間の確保に努め、適宜遅れている生徒への個別指導を行う。
- ④課題学習を効果的に利用して体験学習の機会を設定する。

外国語	<p>(1) 1 学年</p> <p>①アルファベットに慣れていないため、単語を書くことすら難しい。</p> <p>②日本語自体の語彙や表現力の不足。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①場面や状況に応じた自由英作文の機会の不足。</p> <p>②即興の英語でのやり取りに課題がある。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①英語でコミュニケーションを取る回数・時間が不足しているのが課題である。</p> <p>②1, 2 年生で学習した基礎・基本の定着が課題である。</p>	<p>(1) 1 学年</p> <p>①毎時間、4 技能を使った活動を取り入れる。</p> <p>②学習した表現を定着させるために、コミュニケーション活動を行う。</p> <p>(2) 2 学年</p> <p>①帯活動で 2 分間チャットと即興スピーチの活動を継続的に行う。</p> <p>②教科書の story retelling 活動を取り入れる。</p> <p>③授業の最後に英作文課題を設け、課題の場面や状況に適した内容となるような表現方法を既習事項から選択して使用するよう指導する。</p> <p>(3) 3 学年</p> <p>①帯活動において speaking, listening, reading, writing の 4 技能を扱う。</p> <p>②毎週末に 1・2 年の復習の宿題を出し、週明けに小テストで確認を行う。</p>	取り組み中
-----	--	---	-------